

# 富士山 登山記録

だれでも一度は登ってみたい日本の最高峰

夏季に頂上を目指す人は約20万人です。

- 登頂できる人は60~70%とみられています。  
頂上までのコースタイムは4時間余りだが休憩を含むと6~7時間かかる。
- 行く前には、低山を二度以上登って、体を鍛えておくこと。

夜明けから立ち込めた霧のため、感動の御来光を拝むことはできなかったが、高山病の心配もなく、無事頂上に立つことができて嬉しかった。

9.5合に着く。あと30分の急登で頂上だ。残月が三日月型をし、神々しく銀色に輝き、うっとりするような青翠な眺めだ。振り返れば電灯をつけた登山者が黙々として切れることなく続いている。

暗い空に広がる星を見上げながら、何の変化もない登山道。一本の見えない糸に引かれるように砂岩の上を、みんな何を思ひながら歩いているのであろうか。天の川は南北に帯のように流れ、真上に白鳥座が翼を広げて飛び、両側にはセタの星が光輝き、南にはさそり座。山頂に大熊、小熊、カシオペア座が……山で見上げる星は大きく、誰もが宝石のようだと言うのもほんとうだ。

さあ出発しよう。闇夜の中を懐中電灯を頼りに登る。溶岩の石砕けた炭ガラの風の砂岩の道で、中は約1m以上あるが1列になつて登る。

登山日、出発 1979年昭和54年7月21日(土) 当時は5000円

JR 新幹線 こだま号(自由席)  
16:15発 18:10着  
三島駅

片道交通費  
H8.7 新富士6690円  
で調べ 三島7410円 → 約2時間

新5合売店前  
トイレ、売店、電話

富士山測候所

剣ヶ峰(三角点)  
3775.6M

浅間神社奥宮

無料休憩売店、食堂  
頂上富士館休憩所

頂上小屋

七合目太陽館

五合目吉野屋

古御岳神社

須走新五合目

新五合目バス停

バス20分

10:10~10:45

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

三角点から須走り下山口

三角点に寄つてから、万年壁(雪)のある坂道を下ると、雪渓をトラバースする。テント場から右へ大回り込んで登れば、鳥居の建つ須走岳に着く。ガスもすっかり切れて噴火口が凄惨な姿を見せる。焦げた黒と茶褐色、黄と紫退廃した深、噴火口を取り囲むように、対岸の山が無残な姿をし、あの美しく秀麗な富士の醜悪な一面を見せつけられ、大昔、猛り狂った大爆発のどん底に大きかったかと思ふ。

御殿場口新五合目  
バス御殿場駅  
P700台トイレ、売店、電話

日の出時刻

7月1日	4時30分すぎ
7月15日	4時40分
8月1日	4時50分
8月15日	5時
8月31日	5時15分

東京方面、築波山の右側あたりから顔を出す。

0 500 1000M

S 1/25000

新富士駅より1日9本  
三島駅より1日6本

登山者 奥村光信 54才 平野 20才

富士山は信念と根性の山だ。

富士登山前に、鈴鹿の山や、霊仙山に登ってきたお陰で、無事登山できた「心は心に残る、彼女も寒さに耐え、ロングランコースをよきやりとけて微笑む。

須走新五合目

バス20分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分

バス50分